立命館アジア太平洋大学

Shape your world

APU

Ritsumeikan
Asia Pacific University

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

立命館アジア太平洋大学（APU）は、大分県別府市にある私立大学です。学生数約6500名のうち、約半数が110以上の国・地域から集まる国際生で、世界でもまれにみる多国籍・多文化環境を実現しています。本パートナーシップの元、熊本県と大分県にまたがる阿蘇くじゅう国立公園を中心としたさまざまな取り組みを推進してまいります。

担当者（問合せ先）：学部研究科オフィス（大滝）　　連絡先：apust@apu.ac.jp

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞

・外国人訪問客を含む観光客を対象とした阿蘇くじゅう国立公園に関する意識調査
・Wild Life観光やその他の観光政策やプログラムの提言と実施
・連携大学研究者との観光開発とデスティネーションマネジメントに関する阿蘇くじゅう国立公園をフィールドとした研究調査の実施と提言
・国立公園の理解と関心を深めるための人材開発プログラムの実施

＜企業等の強み等＞

・日本全国、世界各国から集まる学生、教員の多様性。海外とのネットワーク。
・日本語・英語はもちろんのこと、その他多言語の対応が可能であること。

＜目標、実現したいこと＞

・環境保全と地域開発が両立した学術的研究の深化と、それらを担う人材の育成。

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞

・令和7年10月に本学正課科目の「公園と保護地域」にゲストレクチャーとして環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所職員の方にご登壇いただいた。
・令和8年1月（令和7年度）にSTC（本学サステイナビリティ観光学部コミュニティ）シンポジウム・交流会を開催。阿蘇くじゅう国立公園管理事務所職員の方々にも出席いただき、情報交換と令和8年度取組を検討した。
・ここのえ町・くじゅう国立公園へ公共交通で行ってみよう！ST学生の成果発表会およびステークホルダーの意見交換会を12/4 の授業内にて実行した。来られたゲストは以下の国立公園の関係者である。
九重町役場 未来デザイン課(コミュニティバス担当課）、大分県 交通政策局 地域交通・物流対策室、公益社団法人ツーリズムおおいた 、環境省 阿蘇くじゅう国立公園管理事務所の所長やアクティブレンジャーなど。

＜次年度取組予定、構想＞

・上記STCやさらに協議の場を設けて、令和8年度の取組を進める。主には阿蘇くじゅう国立公園管理事務所と連携した取り組みとして、以下の内容を構想している。
・サステイナビリティ観光学部の正課科目「公園と保護地域」へのゲストレクチャー登壇。
・国内外の学部生および大学院生（修士課程学生）を国立公園へのゲートウェイである九重町と結びつけるモニターツアーを運営し、フィードバックを提供する。